

.Deb

銀河系唯一のDebian専門誌

2019 年 6 月 15 日

OSC北海道報告 & コミュニティ検討



勉強レポート

目次	
1	最近の Debian 関連のミーティング報告 2
1.1	第 174 回東京エリア Debian 勉強会 2
2	事前課題 3
2.1	NOKUBI Takatsugu (knok) 3
2.2	gyx 3
2.3	yy-y-ja-jp 3
2.4	tinypiece 3
2.5	koedoyoshida 3
2.6	dictoss 3
3	OSC 2019 Hokkaido のイベント参加報告と今後の課題整理 4
3.1	本レポートについて 4
3.2	Debian / Ubuntu ユーザーミートアップ in 札幌 2019.05 4
3.3	オープンソースカンファレンス 2019 Hokkaido 6
3.4	今後の Debian 開発者候補の方への呼びかけ方のディスカッション 9

1 最近の Debian 関連のミーティング報告

杉本 典充

1.1 第 174 回東京エリア Debian 勉強会

2019 年 5 月 18 日 (土) に第 174 回東京エリア Debian 勉強会を開催しました。会場は東銀座にある朝日ネットさんをお借りして行いました。参加者は 5 名でした。

セミナー発表は、吉野さんの「/usr Merge について」でした。/usr Merge とは何か、Debian における /usr Merge の進捗度合い、Debian 技術委員会における議論の内容を説明しました。

その後 Hack Time を行い、各自が用意した課題に取り組みました。

2 事前課題

dictoss

今回の事前課題は以下です。

1. Hack Time は何をしますか (How will you work on Hack Time ?)

2.1 NOKUBI Takatsugu (knok)

1. neologd-package の deb 化、ITP

2.2 gyx

1. Manage/update my servers (which use Debian), and read news (or emails) of Debian.

2.3 yy-y-ja-jp

1. (回答なし)

2.4 tinypiece

1. Debian(rasbian) に kubernetes クラスターを組んでみます

2.5 koedoyoshida

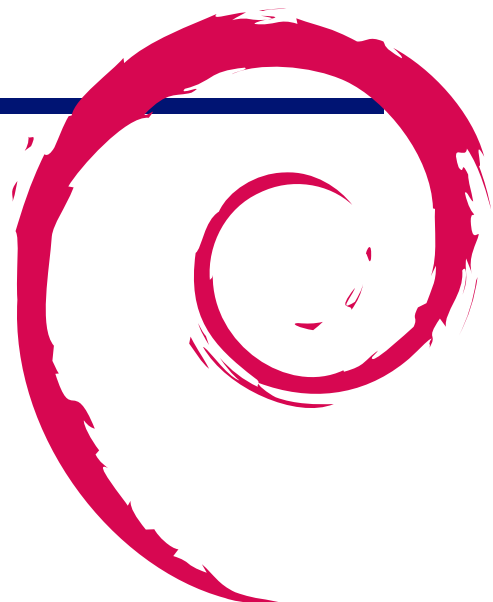
1. (回答なし)

2.6 dictoss

1. GCP の標準 Debian の中身の設定がどうなっているか調べる

3 OSC 2019 Hokkaido のイベント参加報告と今後の課題整理

dictoss



3.1 本レポートについて

北海道で Debian / Ubuntu ユーザーミートアップ in 札幌 2019.05、OSC 2019 Hokkaido のイベントを開催しました。

本レポートは、北海道におけるイベント開催のレポートになります。

3.2 Debian / Ubuntu ユーザーミートアップ in 札幌 2019.05

3.2.1 イベント概要

- イベント名
 - － Debian / Ubuntu ユーザーミートアップ in 札幌 2019.05
- イベントの web サイト
 - － <https://debianjp.connpass.com/event/126637/>
- 日時
 - － 2019-05-31（金） 19:00-21:00
- 場所
 - － 株式会社インフィニットループ様 会議室（サッポロファクトリー 1 条館 3 階）

3.2.2 イベントの来場者

- 合計 3 名
 - － 開催側
 - * 杉本さん、吉野さん
 - － 参加者
 - * 北野大地@JI8GRX さん
 - ・ Debian 古参ユーザで、北海道 Linux ユーザーズクラブ (DoLUC)*¹のメンバ
 - ・ 2017 年、2018 年のミートアップの参加実績あり

*¹ 現在、DoLUC は活動を停止中。

3.2.3 セミナー

- 予定していたセミナーはキャンセル（参加者と話し合い、キャンセルとした）
- 北海道の Debian ユーザや北海道のコミュニティの現状を共有することにした
- キャンセルとなったセミナー
 - － golang の”net/http/cgi”を使って REST API アプリを作る（発表者：dictoss さん）
 - － Debian と セキュアブート（発表者：yy-y-ja.jp さん）

3.2.4 情報交換した内容、出てきた意見

北海道の IT 勉強会の現状

- LOCAL がまとめた北海道における勉強会一覧の資料
 - － <https://www.local.or.jp/wp-content/uploads/2019/05/Handbook-2019-19052903.pdf>
- 上記資料の勉強会はどのような勉強会であるか調べた
 - － イベント系の団体
 - * オープンソースカンファレンス北海道実行委員会
 - * 一般社団法人 LOCAL
 - ・ OSC 北海道のイベント実務の大部分は LOCAL がやっている
 - * ET ロボコン北海道地区実行委員会
 - ・ 北海道の高専は高専ロボコン全国大会の強豪校
 - * U-16 プログラミングコンテスト
 - － 学生が主な参加者の勉強会や団体
 - * LOCAL 学生部
 - ・ 属している学生の学校は北海道各地に散らばっている
 - ・ 【疑問】どうやって交流や話をしているのか？*2
 - * FuraIT（富良野）・ゆるい勉強会（旭川）
 - ・ 富良野と旭川の高校生・高専生が主な参加者に見える
 - ・ 参加者の一部の人は両方のイベントに参加している（生活圏内が近いと思われる）
 - * 子ども向け
 - ・ TEAM IchigoJam ほっかいどう
 - ・ CoderDojo 札幌 × 札幌東 × 恵庭

北海道の工学系の大学や高校

- 北海道大学
 - － OSC 北海道で例年参加者を見かける
- 室蘭工業大学
 - － OSC 北海道で例年参加者を見かける
- 北見工業大学
- 公立はこだて未来大学
 - － OSC 北海道で例年参加者を見かける

*2 後述の OSC 2019 Hokkaido で学生に実際にヒアリングを行った。

- 公立千歳科学技術大学
 - － OSC 北海道で例年参加者を見かける
- 札幌市内の私大の工学部系
- 国立高専（旭川、函館、釧路、苫小牧）
 - － OSC 北海道で例年参加者を見かける
- 富良野緑峰高校

企業

- アットマークテクノさん
 - － Armadillo というボードをつくっており、OS は Debian を採用

今回の OSC 北海道の参加予定セミナーの申し込み数の傾向

- Microsoft のセミナーは人気が高い
- Python のセミナーは人気が高い
- VR ネット、AI ネットは人気が高い
- プログラミング教育系のセッションの人気が高い
- 勉強会そのものの体験談、カンファレンスの参加体験談に人が集まる

どうやって大学や高校、学生と接触していくとよいか

- 【悩み】先生や学生に接触できればよいが、どうやって接触すればよいかわからない

3.3 オープンソースカンファレンス 2019 Hokkaido

3.3.1 イベント概要

- イベント名
 - － オープンソースカンファレンス 2019 Hokkaido
- イベントの web サイト
 - － <https://www.ospn.jp/osc2019-do/>
- 日時
 - － 2019-06-01（土） 10:00-18:00
 - * Debian.JP では、2 日目のコミュニティデイのみ参加
 - * ブース展示、セミナーを開催
- 場所
 - － 札幌コンベンションセンター（地下鉄東西線 東札幌駅近く）

3.3.2 イベントの来場者

- 2日間合計で約 720 名程度（主催者発表値）*3*4
 - － 5/31（金） 約 80 名（ビジネスデイ）
 - － 6/01（土） 約 640 名（コミュニティデイ）
 - － 2日間合計 約 720 名
- 学生の参加者比率が高い
 - － 高校生、高専生、大学生が参加している
 - － 交流した学生で学校が判明しているところ
 - * 公立千歳科学技術大学
 - * 公立はこだて未来大学
 - * 室蘭工業大学
 - * 北海道大学
 - * 苫小牧高専
 - * 旭川高専
 - * 旭川工業高校

3.3.3 セミナー

- 公開プログラム
 - － <https://www.ospn.jp/osc2019-do/modules/eventrsv/?id=2&noform=1>
 - － 2019/6/1（土） 11:00-11:45
- 発表内容
 - － タイトル「Debian Updates」
 - － 発表者は杉本さん
 - － スライド資料*5
- 聴講者
 - － 6 名

3.3.4 ブース展示

- 2019/6/1（土）のみ展示
 - － 吉野さん、杉本さんで対応
- 出展内容
 - － Debian GNU/Linux マシンのデモ展示
 - － Debian 管理者ハンドブックの展示
 - － トイストーリーのキャラクターのぬいぐるみ展示
 - － Debian 勉強会のチラシ配布
 - － Debian シール配布（スーパーキー/スケルトン）
 - － Debian 勉強会の過去のまとめ冊子展示/販売
 - － Debian T シャツ販売

*3 出典：メーリングリスト osc-member [osc:7983] [北海道] アンケート集計結果

*4 過去データ一覧 <https://www.ospn.jp/visitors/>

*5 <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/pdf2019/debianmeetingresume201906-osc2019do-presentation.pdf>

3.3.6 イベントの参加者や出展者との交流

- LOCAL 学生部
 - － メンバは北海道各地に散らばっている
 - － 主に slack でコミュニケーションをとっている
 - － Face to Face で会うのは OSC とそれ以外に年に 1 回程度
 - － 「LOCAL Students 情報ボーイズの寄稿ノート」^{*7}という本を出している^{*8}^{*9}
- 深町先生
 - － 公立千歳科学技術大学の先生
 - － FML の開発者

3.4 今後の Debian 開発者候補の方への呼びかけ方のディスカッション

3.4.1 観点

会いに行く・会いに来る

- 東京圏におけるイベントと地方におけるイベントの傾向の違い
- 高校生・高専生・専門学校生・大学生におけるイベントや勉強会の参加の壁は何か（時間、金銭、距離など）
- 学生のいる場所へ呼んでもらう方法
- 先生とどう知り合い、どのような情報交換をしていくとよいか

Debian 勉強会における情報提供の在り方

- 取り上げる話題をどう選んでいくか
 - － 時事ネタ、流行りネタ、利用事例
 - － インストール
 - － アプリケーション、ミドルウェアの利用
 - － 開発環境
 - － Debian の仕組み解説
- Debian 勉強会の資料をどのようなメディアで提供するとよいか
- Debian 勉強会のセミナーのビデオ配信（ライブまたは録画）の是非

インターネットにおける情報提供

- メーリングリスト
- ブログ記事
- web サイト

イベントやセミナーにおける情報提供

^{*7} <https://techbookfest.org/event/tbf04/circle/14720002>

^{*8} 原稿は tex で書いている模様。 https://github.com/hyoiutu/techbookfest_localstudents_2017

^{*9} 2 冊目にあたる「LOCAL Students 情報ボーイズの寄稿ノート 2.0」を当日販売していた。

- セミナーのテーマに取り上げる話題の選定
 - － OSC では「Debian Update」という半年間を振り返る話をする人が多い。見直すべきか？
- 魅力あるブース展示にするための検討
- イベントの参加者属性を意識する
 - － OSC は入門者向けのイベントのため、セミナーは入門レベルの難易度に設定している
 - － より高度な知識を求める人はどのようなイベントに集まるか？また、そのイベントに Debian 勉強会はどう関わるか？



Debian 勉強会資料

2019 年 6 月 15 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
